

1. 研究の背景

全国の中山間地域では若者世代の定住が課題
移住・定住施策は多くの自治体で展開されている

今後必要と考えられる視点（仮説）

- ・Uターン・Iターンすべての若者世代が住み続けるための取組・支援が必要
- ・若者世代が中山間地域に入ってくる・戻ってくる流れを継続的なものにするためには次世代環流（今の子どもたちが他出後Uターン）の視点が必要

2. 研究の目的と流れ

目的：若者世代の定住に必要な条件を明らかにする

マクロデータ分析

アンケート調査（20～44歳）

アンケート調査（高校生）

まとめと提案

- ①長期的にみると若者世代の人口移動の特徴は？（1960～2015年）

- ②中山間地域に住むことを決めた理由は？
- ③若者世代が住み続けるために必要な条件は？
- ④子ども時代の地域との関わりや他出時の出身地との関わりは？

- ⑤現役高校生は地域に対してどのような意識を持っている？

I～IIIのフェーズ毎に必要な条件を整理

- I. 移住段階
II. 定住段階
III. 次世代還流

3. 調査結果

①長期的にみると若者世代の人口移動の特徴は？（報告書 P.5～14）

人口移動の特徴

- 【1960～2010年の期間】
- ・若い世代の人口移動は景気に左右されやすい傾向
 - ・10代は進学、就職を機に県外へ他出する傾向

- 【2010～2015年の期間】
- ・「田園回帰」の流れ（景気に左右されない動き）を確認
 - ・10代の県外他出傾向が弱まる傾向

家族形態別にみた転出入の傾向
* 島根県のデータ（2013～2018年）

- 転出：単身の10～20代が多い
- 転入：家族（子ども連れ）の30代が多い

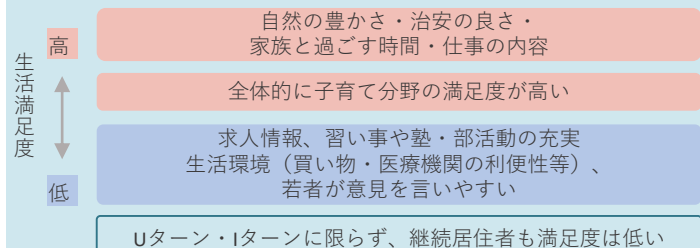
②中山間地域に住むことを決めた理由は？（報告書 P.20～23）

- ・居住地を決めた理由は一つではなくUターン・Iターンなど属性で異なる
- ・「職場の近さ、家族と過ごす時間の充実」は共通して重視されている

居住地を決めた理由	全体（共通）	Uターン	Iターン
職場の近さ	職場の近さ	自分のふるさと親等が近居	自然が豊か仕事の斡旋・紹介やりたい仕事
家族と過ごす時間	家族と過ごす時間	同世代の付き合い地域内の付き合い	

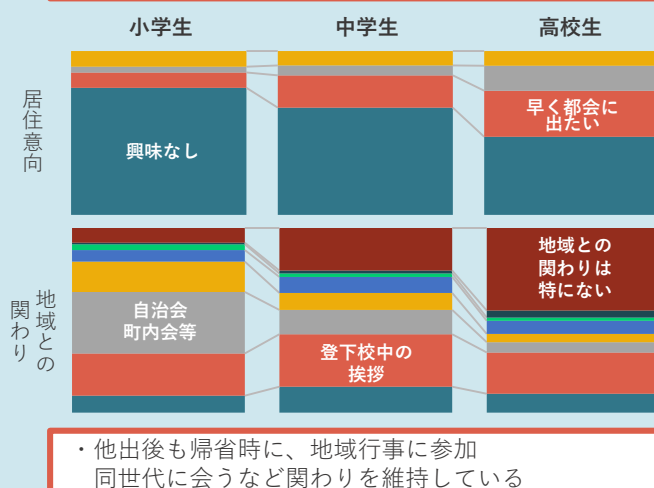
③住み続けるために必要な条件は？（報告書 P.27～30）

- ・「職場の近さ、家族と過ごす時間の充実」は満足度も高い
- ・一方、「求人情報の充実、習い事や塾・部活動の内容、生活環境、若者が意見を言いがやすい」の満足度は低い



④子ども時代の地域との関わりや他出時の出身地との関わりは？（報告書 P.33～36）

- ・小学生から高校生に進級するにつれ他出意向高まる
- ・あわせて地域活動への参加頻度は少なくなる

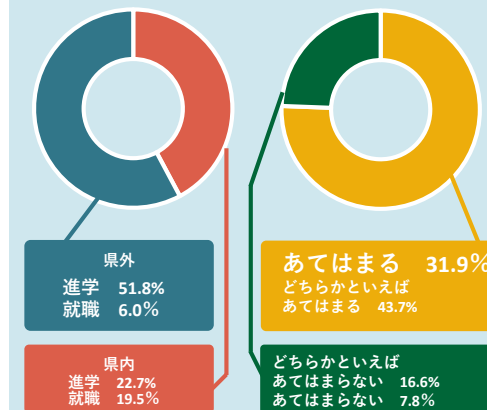


⑤現役高校生は高校時代に過ごした地域に対してどのような意識を持っている？（報告書 P.48～56）

- ・県外へ就職・進学を検討・・・6割
- ・高校時代に過ごした地域と関わりを持ち続けたい・・・7割

卒業後の進路の意向は？

卒業後、高校時代に過ごした地域と関わりを持ち続けたい？



4. まとめと提案 若い世代の中山間地域への流れを持続的なものにするため、I. 移住段階 II. 定住段階 III. 次世代環流の3つのフェーズで取り組むことが必要（報告書 p.62～67）

I. 移住段階 移住支援に必要な視点は？

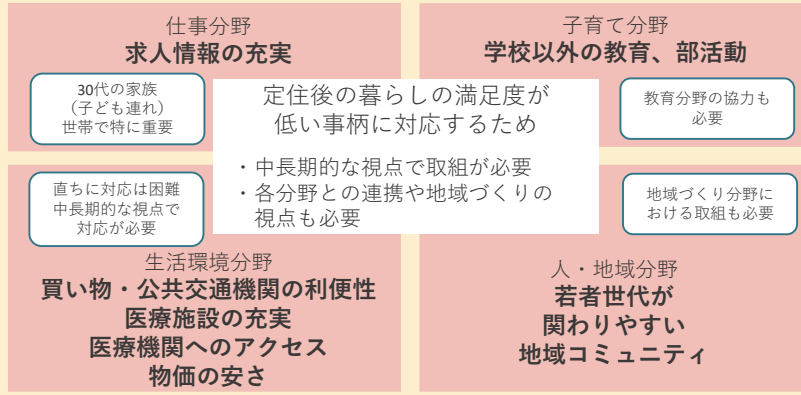
“職場の近さ”“家族と過ごす時間の充実”の実現がポイント
+属性に合わせた移住促進策の検討が必要

性別、Uターン・Iターン別にみたニーズ	家族構成別の特徴	
	男性	女性
Uターン	共通：自分のふるさと・親等が近居 家族や親戚から情報を得ている	共通：自分のふるさと・親等が近居 家族や親戚から情報を得ている
	職場の近さ 仕事の斡旋・紹介 やりたい仕事	家族と過ごす時間 職場の近さ 相談・世話をしてくれる人 保育園・学校に近い 子育ての補助金の充実
Iターン	共通：自然が豊か・家族と過ごす時間 活用している支援制度の中では 住まい・仕事に関する制度、相談窓口の活用が多い	共通：自然が豊か・家族と過ごす時間 活用している支援制度の中では 住まい・仕事に関する制度、相談窓口の活用が多い
	同世代の付き合い 地域内の付き合い	結婚相手のふるさと

II. 定住段階 定住支援に必要な条件整備は？

若者世代が住み続けるために必要な支援は
「仕事」、「生活環境」、「人・地域」、「子育て」の分野

各分野のポイントは？



III. 次世代環流 次世代環流が生じるために必要な視点は？

次世代環流（現在の子ども達が他出後Uターン）に向けて
教育・地域づくり分野との連携や地域と他出者との関係が重要

